

衆議院予算委員会ニュース

平成 24.4.18 第 180 回国会第 24 号

4 月 18 日（水）第 24 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 村 越 祐 民君（民主）（理事西村智奈美君去る 6 日委員辞任につきその補欠）

2 予算の実施状況に関する件

- ・外交・安全保障等について、野田内閣総理大臣、玄葉外務大臣、前田国土交通大臣、田中防衛大臣、藤村国務大臣（内閣官房長官）及び政府参考人に集中審議を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

菊 田 真紀子君（民主）

- ・北朝鮮のミサイル問題及び拉致問題に関し、政府はあらゆる措置を講ずるべきであると考えているが、今後の対応について野田内閣総理大臣の見解を伺いたい
- ・北朝鮮による核実験の強行等の懸念に対し、同国に影響力のある中国及び国連安全保障理事会に政府はどのような働きかけを行うのか。
- ・石原東京都知事が、都として尖閣諸島を購入したいと発言したことに対する政府の所見を伺いたい。

中 島 正 純君（国民）

- ・早期警戒情報の取得が米国頼みになっていることが北朝鮮ミサイル発射に関する政府の情報伝達の遅れの原因ともなっており、国民の安全・安心を確保する等の観点から、我が国は早期警戒衛星を保有すべきではないか。

中 谷 元君（自民）

- ・石原東京都知事が、都として尖閣諸島を購入したいと発言したことに関し、固有の領土として国が購入するべきであると考えているが野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・4 月 13 日の北朝鮮によるミサイルの発射に関し、発射の第一報を野田内閣総理大臣と藤村内閣官房長官に誰がいつ伝えたのか。また、この第一報をなぜ国民に直ちに伝えなかったのか。
- ・今回の北朝鮮ミサイル発射にも鑑みて、我が国は韓国と軍事情報の相互援助のための軍事情報包括保護協定（G S O M I A）を早期に締結すべきではないか。

伊 東 良 孝君（自民）

- ・野田内閣総理大臣は、4 月 29 日から 5 月 2 日にかけて訪米してオバマ大統領と会談する予定と聞くが、その際 T P P について言及するのか伺いたい。
- ・下呂市長選挙で特定候補者の支援依頼文書に署名した経緯について、前田国土交通大臣の所見を伺いたい。
- ・前田国土交通大臣が、下呂市長選挙で特定候補者の支援依頼文書に署名し送付した問題について、野田内閣総理大臣は任命権者として、どう考えているか伺いたい。

佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・北朝鮮が長距離弾道ミサイルを発射した際、首相官邸の危機管理センターが緊急情報ネットワーク（E m - N e t）で提供した第一報情報の発出までの経緯について伺いたい。
- ・ミサイル発射の際、内閣官房が政府全体を取りまとめて対応を行うことになっていたが、官房長官の会見前に、田中防衛大臣が会見を行った理由について伺いたい。
- ・野田内閣総理大臣、玄葉外務大臣は鳩山元首相のイラン訪問を止めるように要請したと聞くが、いつ、どのように行ったのか伺いたい。

笠 井 亮君（共産）

- ・北朝鮮による「人工衛星」と称するロケット発射は、日朝平壤宣言及び 2005 年 9 月の六者会合共同声明のどの点に違反しているのか、藤村内閣官房長官に伺いたい。
- ・北朝鮮によるこれ以上の地域情勢の悪化を抑えるため、非軍事的な外交努力をすべきと考えるが、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

服部良一君(社民)

- ・在アフガニスタン日本国大使館へのロケット弾の着弾等の事態を受け、アフガニスタンへの支援・関与の在り方を見直すべきではないか。
- ・PAC3の配備には軍事的意味はなく、先島進出への地ならしとする指摘に対する田中防衛大臣の所見を伺いたい。

浅尾慶一郎君(みんな)

- ・鳩山元内閣総理大臣のイラン訪問に対する、民主党代表としての野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・他に手段がないと認められる限り、誘導弾等の基地に対する攻撃は自衛の範囲に含まれるとする鳩山一郎内閣時の政府見解は現在も有効であるか、田中防衛大臣に伺いたい。

渡辺義彦君(きづな)

- ・我が国は敵地攻撃能力を保持しているか、野田内閣総理大臣に伺いたい。
- ・日朝平壤宣言は有名無実化し、すでに無効になっていると考えるが、玄葉外務大臣の所見を伺いたい。